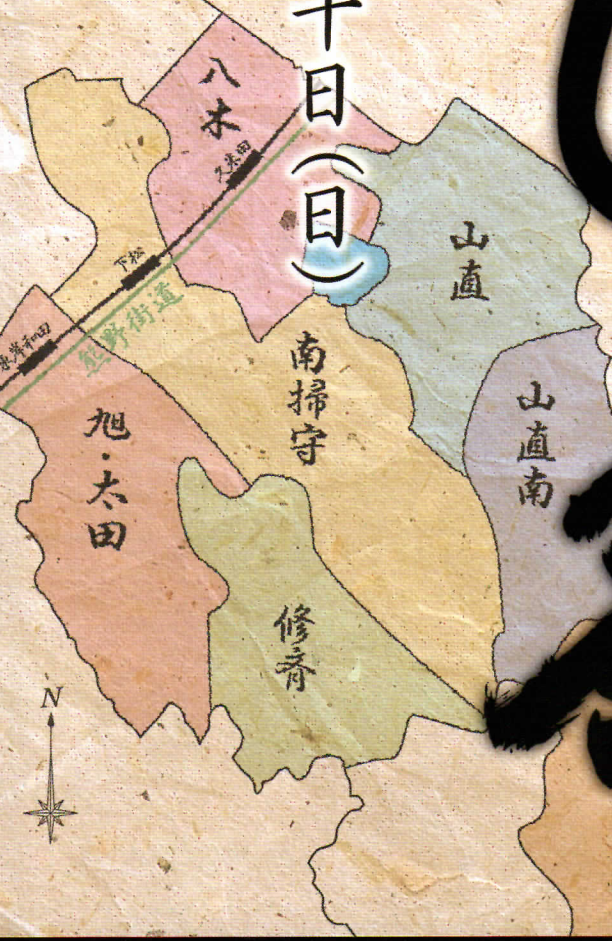


ようこそ！
岸和田十月祭礼

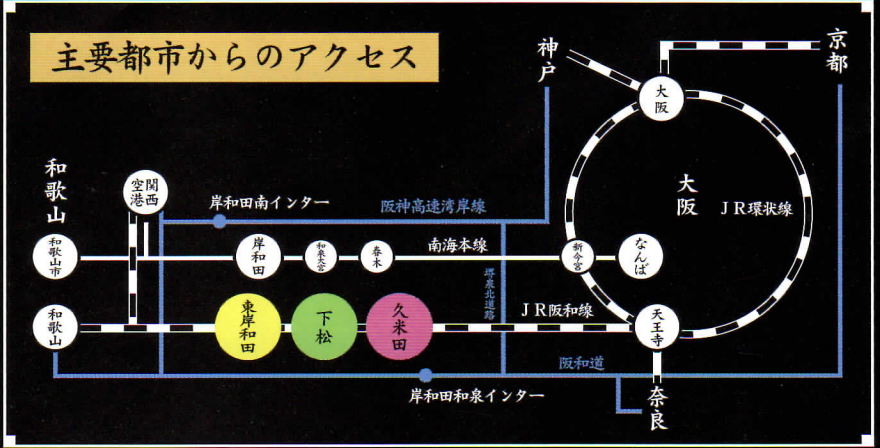
だんじり祭

平成二十二年
十月九日(土)・十日(日)

岸和田観光マップ



大澤町	内畑町下出	橋室	積川町	稲葉町東	稲葉町西	山直中町	包近町	三田町	同山山出小路	福田町	山下町	三田町	同山山出小路	中尾生町	尾生町	西大路町	大町	額町	額原町	上松町	土生町	畑町	土生滝町	阿間河滝町	真上町	八田町	神須屋町	流木町	極楽寺町	至和歌山市
至天王寺	久米田駅	下松駅	J-R環状線	東岸和田駅	至和歌山市	箕土路町	下池田町	小松里町	下松町	八阪町	作才町	中井町	荒木町	西之内町	国道26号線	至難波	春木駅	和泉大宮駅	南海本線	岸和田駅	至和歌山	土生滝町	阿間河滝町	真上町	八田町	神須屋町	流木町	極楽寺町	至和歌山市	



山直地区

- 岡山町東出 ●岡山町大西 ●田治米町
- 岡山町山出 ●三田町 ●三田町小倉
- 今木町 ●摩湯町



だんじりパレード曳行・観光MAP

——— 主要パレード曳行コース

- 8町パレード／10月9日(土)**
PM1:40~
- ①田治米→②今木→③摩湯→④東出→⑤大西→
⑥三田→⑦小倉→⑧山出
- 10町連合パレード／10月10日(日)**
PM1:30~
- ①田治米→②東出→③摩湯→④山出→⑤三田→
⑥大西→⑦山直中→⑧包近→⑨今木→⑩小倉



- ① 菅原神社 (岡山町)**
創建年代は不詳であるが、氏地は元久米田地の湖底にあったが、移転し新在家と称したという。岡山町山出・岡山町大西・岡山町東出が宮入する。
- ② 淡路神社**
当初は水の霊を祀るが、延喜の初頭(八世紀前半)淡路の一宮伊弉諾神社から分霊をお祀り以後淡路神社という。宮入は、摩湯町。
- ③ 摩湯山古墳**
四世紀末の築造とされる前方後円墳で周囲に堀を巡らされている。聖徳天皇の直女不談内親王の墓とも伝えられる。国の史跡である。
- ④ 菅原神社 (田治米町)**
創建年代は不詳と言われている。平成15年に大改修を行う。宮入は、田治米町。
- ⑤ 菅原神社 (穂棕神社・三田町)**
三田町の飛び地で岡山町から「おかんど」三田町から「おくんど」と呼び合ったこともあったという神社です。宮入は、三田町・三田町小倉。
- ⑥ 菅原神社 (今木町)**
創建年代不詳 宮入は、今木町。



牛滝温泉
いよやかの郷

ご予約・お問い合わせ
TEL 072-479-2641
〒596-0114 大阪府岸和田市大沢町1156

<http://www.iyoyaka.jp/>
いよやか

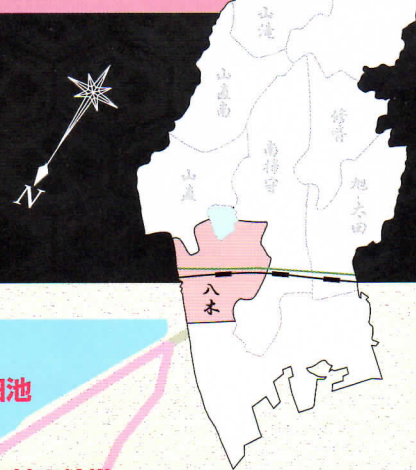


池田泉州銀行

東岸和田支店

八木地区

- 中井町●吉井町●荒木町●下池田町●箕土路町
- 西大路町●小松里町●額町●額原町●大町●池尻町



だんじりパレード曳行・観光MAP

行基参り / 10月10日(日)

AM9:00~

- ①池尻町
- ②大町
- ③額原町
- ④額町
- ⑤小松里町
- ⑥西大路町
- ⑦箕土路町
- ⑧下池田町
- ⑨荒木町
- ⑩中井町
- ⑪吉井町
- ⑫田治米町
- ⑬今木町

- 主要パレード曳行コース
- 行基参りコース
- 熊野街道



① 夜懸神社
創建は定かでないが、延長5年(927)成立の「延喜式」にその名が見える古社である。明治41年以降八木地区の氏神を合祀して以来、八木地区の母社となり11ヶ村が宮入する。



② 池田王子跡
旧熊野街道沿いに、熊野九十九王子の一つである「池田王子」の跡はも残っていないが、旧跡地付近に、王子跡の説明板がある。



③ 額川神社逢拝所
熊野詣での途中、熊野街道から約5kmほど離れているので、この地から逢拝した場所として立派な鳥居がある。白河上皇が鳥居の高麗を自ら揮毫したということである。その額は現在額川神社に保存されている。



④ 久米田古墳公園
四世紀末頃からの貝吹山古墳をはじめとする古墳群が多数現存整備され、古の王が隠れる。貝吹山古墳は、堺の大山古墳(伝仁徳天皇陵)より古いと言われている。



⑤ 浄行寺
浄土真宗本願寺派の寺院で古墳の上に建立されている。前方後円墳の後円部は寺院の前身の築山として、前方は本堂に周溝部は駐車場になっている。



⑥ 三好実休戦没地
永禄5年(1562)三好方と畠山と紀州連合軍とが久米田の地で1万5千人の兵が戦い、大将の三好実休がこの地で戦死する。この戦いで、久米田寺も灰燼に帰する。



⑦ 志阿弥法師の塚
久米田伝説の人物として、古くより小松里墓地の一角に墓標記されている。主に火葬を広めたと言われている奈良時代の人物である。



⑧ 光明塚
久米田寺の西にあり、光明皇后の御爪と御道髪を葬った墓と伝えられています。



⑨ 三基五輪塔
聖武天皇(中央)・光明皇后(左)・龜山天皇(右)の供養塔と言われ、三基とも同型で文字はない。鎌倉時代のもと思われる。



⑩ 久米田寺
久米田池開墾の際、天平6年に「行基」によって創建されたと伝えられている。華嚴院、五大院、多門院、明王院の4院を有する古刹です。秋祭りには行基の恩恵を受けた各町の「だんじり」が「行基まいり」をする。



⑪ 靖霊殿
戦没者慰霊のために、純仏教的な慰霊堂として建立された。この靖霊殿には女装三蔵法師の霊骨が祀られている。



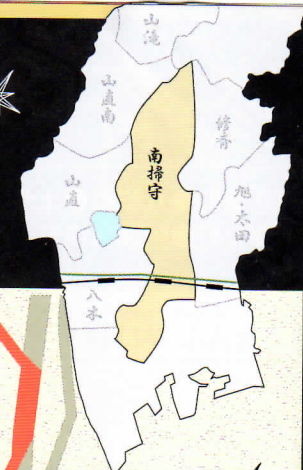
⑫ 久米田池
府下最大の水面積を誇る池で行基が築造の指揮を執ったと伝えられていて、築造に係わる数々のエピソードが民話として伝えられています。日本ため池100選にも選ばれている。



⑬ 火消し地藏
行基堂めがけて、たくさんの火の玉が飛んで来てはお堂に火をつけようとした。お地藏をお祀りして火の玉を消さばらしました。

南掃守地区

- 下松町●八坂町●上松町●山下町●西之内町
- 尾生町●中尾生町●福田町



だんじりパレード曳行・観光MAP

- 主要パレード曳行コース
- 熊野街道

- ⑦菅原神社(尾生町)
- ⑧尾生・福田城跡
- ⑨蜻蛉池公園

南掃守祭礼パレード / 10月9日(土)

- PM2:00~下松駅前
- ①下松町→②中尾生町→③上松町→
 - ④西之内町→⑤山下町→⑥福田町→
 - ⑦尾生町→⑧八坂町



- ①兵主神社 ②蛇淵
- ③中央公園(元競馬場)

- ⑩岸和田天神宮



① 兵主神社
延長5年(927)成立の「延喜式」にその名が見える古社であり、古代掃守郷の総社。天正年間(1573~1582)に兵火に遭うも、明治後期以降他地区の氏神を合祀し、下松町・八坂町・西之内町が宮入する。



② 蛇淵
兵主神社本殿の裏手にあり、久米田池と繋がっており、久米田池の主の大蛇が水がなくなると、蛇淵にきたという言い伝えがある。



③ 中央公園(元競馬場)
元春木競馬場の跡地を岸和田市が購入。敷地内は市民のための、スポーツ広場、テニスコート、プール、体育館、日本唯一のフィエルクヤッペンの競技場が存在する。



④ 菅原神社(上松町)
創建年代は不詳と言われている。宮入は、上松町。



⑤ 和泉式部 硯塚・筆塚
府道30号線を挟んで山側に筆塚、海側に硯塚がある。和泉式部が筆や硯を埋めた所と伝えられている。



⑥ 轟川伝説地(上轟橋)
和泉式部が、幼少の頃、畑で綿を取っていると商人が通りかかると「その綿着るか」と聞いた式部はとっさに「轟きやあの綿ならばうるかなり、この綿ばかり、うるかてなし」と答えたという伝説の場所である。



⑦ 菅原神社(尾生町)
長保3年(1001)に「天満大自在威徳天神」と尊称して祀ったのが始まりと伝えられている。宮入は尾生町・中尾生町・福田町。



⑧ 尾生・福田城跡
両城とも戦国時代の小さな城で、尾生城は瑞光明小学校に比定されている。福田城は、福田九郎左右衛門尉で、十河一存に属すると伝えられる。跡地は現在は民家になっている。



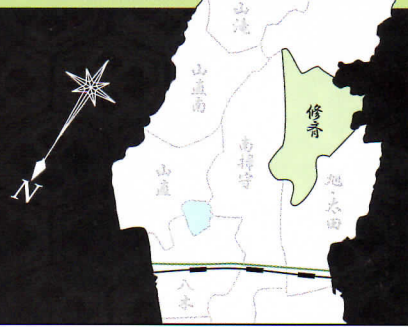
⑨ 蜻蛉池公園
季節の花を観賞できる花木園、子供の国、テニス村、音楽広場等々ゆったりとした時間が過ごせる癒しの空間です。



⑩ 岸和田天神宮
創建は正平17年(1362)。沼村の長、沼間將監が父の病の回復を願い京都の八坂神社に参ったところ、父の病は全快した。そこで沼間將監は邸内に社殿を造営して八坂神社の御分霊を勧請したのが始まりと伝えられている。二目目に山下町の地車が宮入する。

修齊地区

- 葛城町●八田町●土生滝町●神須屋町
- 真上町●阿間河滝町



だんじりパレード曳行・観光MAP

主要パレード曳行コース



修齊地区パレード / 10月9日(土)
PM12:30~
①葛城町→②神須屋町→③八田町→④真上町→⑤阿間河滝町→⑥土生滝町



1 岸和田天神宮
創建は正平17(1382)年。沼村の長、沼間将監が父の病の回復を願い京都の八坂神社に参ったところ、父の病は全快した。そこで沼間将監は邸内に社殿を造営して八坂神社の御分霊を勧請したのが始まりと伝えられている。作才町の地車が宮入りする。



2 作才の夜泣き石
慈光寺門前にある巨石。領主が自邸に持ち帰ったが、夜な夜な「帰りたい」と泣いたため戻されたという伝説がある。



3 熊野街道
古代の南海道。熊野参詣に多くの旅人が通ったため「藪の熊野詣で」といわれた。市内には池田王子があった。



4 和泉式部「恋の淵」「恋ざめの淵」
和泉式部は好ましい男性があらわれると「恋の淵」の水を用いて恋に落ち、跑きると「恋ざめの淵」の水を用いて恋心をさましたと伝わっている。



5 波多神社
御祭神に第八代孝元天皇の曾孫の波多八代宿禰を祭る延喜式内社。12日畑町の地車が宮入りする。



6 土生墓
岡部宣勝の岸和田入城に際し、土生重右衛門らが年貢減免の強訴に及び斬首の刑を受けた。罪人墓は許されず、歯痛よけの「歯神さん」と呼び祀られた。



7 土生神社
寛治4年(1090)、白河上皇熊野御幸の折に村民が鎮守の神を祀ることを願いたところ、勅許により天神を祀った。土生町の地車が宮入りする。



8 岸和田ワニの発見地
平成6年、流木町の下水道工事現場から化石が発見され、3年に渡る調査により約60万年前のワニと判明し、岸和田市自然資料館で再現されている。



9 泉光寺
岸和田藩岡部家の初代宣勝をここに隠居所とし、死後、菩提寺とした。境内には代々12基の五輪塔が整然と並んでいる。



10 玉葱の碑
明治15年頃に神戸の外国料理から玉葱を知り、泉州で玉葱の栽培実験を始めた坂口平三郎の碑。



11 行遭堂
かつて神事の際に上字(八田・神須屋・真上)と下字(畑・極楽寺・流木)の民衆がここで行き違って矢代寸神社にお参りした。



12 矢代寸神社
総持天皇元年の創建と伝わる延喜式内社。平成19年に御座座1500年の大祭が催された。地車5台が宮入りする。



13 捕鳥部万墓
日本書紀の崇峻天皇記(587)に書かれた蘇我馬子と物部守屋の戦いにより守屋の家来捕鳥部万がこの地で敗れ愛犬が遺骸を守って餓死したことから朝廷もこれを哀れみ、万と犬の墓を作り葬った。



14 意賀美神社
天平4年(732)、聖武天皇が大旱ばつとき、祈されたところ降雨があり「雨降大明神」と名づけられた。3台の地車が宮入りする。

関西国際空港にほど近い岸和田は、岡部公五万三千石のもとに栄えた城下町。西に大阪湾、東に和泉葛城山を望む市内は自然に恵まれ、岸和田城や古刹、史跡など先人の残した文化的遺産が数多く点在しています。だんじり祭は「五穀豊穰」を地域の氏神様に祈願・感謝する神事の一大行事であり、だんじり曳行は豊作を氏神様と共に氏子が祝いの宴として行っています。今日では社会の多様化、都市化に伴い地域住民の「絆」、「地域力」の結束としての役目も担っています。本紙を片手に「だんじり祭」「岸和田観光」をお楽しみ下さい。



本紙監修を国立大学として全国初となる観光学部を設立し、「地域発展の一助に」と目指す和歌山大学及び和歌山大学岸和田サテライトのご協力を得て作成しました。

和歌山大学ホームページ <http://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/kishiwada.html>
ブログ「岸和田サテライトの毎日」 <http://blog.livedoor.jp/agent930/>

だんじり祭の楽しみ方

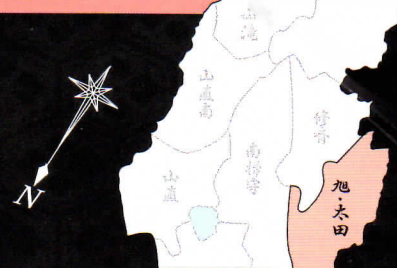
だんじり祭りは勇壮な祭りですが、その「勇壮」と同居しているのが、「危険」です。だんじり見物をされる方のための安全な楽しみ方をご紹介します。

- 祭礼関係者、警察官は、だんじりの安全曳行と、見物人の安全確保のため随所に立って見物人を誘導しています。これらの方の指示には、速やかに従ってください。
- 脚立、ふみ台に乗っての見物は危険です。絶対にしないでください。曲角付近で見物！危険！
- 曳行時間中に曳行コース内を自転車で行き交わさないで下さい。
- ゴミを道路に捨てないでください。各自お持ち帰りください。
- 傘をさしての見物は非常に危険です。レインコート、カッパ等をご持参ください。
- 当日は広範囲にわたり交通規制が実施されます。車の御来場は御遠慮ください。
- だんじりには後継子という籠取り籠子があり、その後継子の操作を十分に行うには、だんじりの約二倍の幅が必要です。だんじりが通過するときは、道路を広く開けて曳行の邪魔にならない様にして下さい。



旭・太田地区

●極楽寺町●畑町●流木町●作才町●土生町



だんじりパレード曳行・観光MAP

—— 主要パレード曳行コース
 - - - - 熊野街道

曳き出し11町パレード / 10月9日(土)
 AM6:00~土生交差点

旭・太田地区 ①土生町→②流木町→③畑町→
 ④極楽寺町→⑤作才町

修斉地区 ①阿間河瀧町→②神須屋町→
 ③土生瀧町→④真上町→
 ⑤八田町→⑥葛城町

旭・太田5町パレード / 10月9日(土)
 PM1:00~東岸和田市民センター前

①極楽寺町→②土生町→③流木町→④作才町→⑤畑町

東岸和田パレード / 10月10日(日)
 PM1:30~土生派出所前

①作才町→②畑町→③神須屋町→④真上町→
 ⑤極楽寺町→⑥葛城町→⑦八田町→⑧土生瀧町→
 ⑨流木町→⑩阿間河瀧町→⑪土生町



案内所

岸和田ボランティアガイドがだんじり祭見物及び岸和田観光のご案内をします。

岸和田ボランティアガイドについてのお問い合わせは岸和田市観光振興協会まで
 TEL.072(436)0914(だんじり会館内)

だんじり会館

だんじりの展示をはじめ、日本一の「だんじり祭」そのものが体感できます。

入場料 大人600円・小人300円
 開館 AM10:00~PM5:00
 月曜日休館 TEL.072(436)0914